



お彼岸のおはなし

春分・秋分の日をはさんで前後1週間を「お彼岸」といい、ご先祖様のお墓参りをしたり、ぼた餅やおはぎを作ったりいたします。この「お彼岸」は「なんとなくお墓参りをする頃」と思われがちですが、そもそもどんな期間なのでしょう。

本来仏教徒である私たちは、一年通して仏道を修行しなければならないわけですが、世俗のことに心をうばわれてつい怠けがちになることから「せめて気候のよいこの時期だけでも…」と設けられた仏道修行の期間こそが、この「お彼岸」の1週間なのです。



では、「彼岸」とはどんな意味があるのでしょうか。なんとなく「あっち側の岸」と書くから「あの世」のことではないかと思いがち。

仏教では、私たちの過ごす迷いの世界を「此岸（しがん）」といいそれに対して、悟りの世界を「彼岸（ひがん）」といいます。

「お彼岸」とは『至彼岸』の略で、迷いの世界から悟りの世界へ至ることを指しており、そのために仏道修行に努める期間を設けているわけです。



でも、「仏道修行」な～んて言われると一体何をしたいのやら。まあまあ、そんなに硬く構えないで、だれでも いつでも どこでも 仏道修行は時間がなくても、生活の中で 一人でできます。

- ◎ 布施をしましょう（誰かと喜びを分かち合いましょう）
- ◎ 持戒をしましょう（約束やルールを守りましょう）
- ◎ 忍辱に勤めましょう（いつか花開く日を胸に耐えましょう）
- ◎ 精進をしましょう（継続は力なり 一步一步踏みしめましょう）
- ◎ 禅定をしましょう（自分の心をよくよく見つめましょう）
- ◎ 智慧を求めましょう（仏さまだったらどうするか、考えてみましょう）



大智寺だより

平成22年長月

発行所

大智寺

岐阜市山県北野

668-1

電話：056-229-1532

Mail: hybr245

@ybb.ne.jp

ホームページ

大智寺検索

www.geocities.jp/daiti

toukai

今月の当紙発行には、
岐阜県浄化槽管理センター様の
ご支援を頂きました。
ありがとうございます。

地域のみなさん ありがとうございます

♪ 楽しかった こども合宿 ♪



8月23日（月） 晴れ

午前中は托鉢、午後は県庁職員による環境のお話。
坐禅やお経の練習も頑張り、夜は盆踊り大会。

この日の托鉢では卵やお茄子、キュウリにかぼちゃ、インゲン豆、ジャガイモ、スイカなど、いただきました。お屋には子ども達が「おいしい！おかわり！」と大賑わいでした。

また里1号のおじさんには托鉢休憩中に子どもに大人気コンコンジュースを持ってきていただいたり、里3号のおじさんには夕方武芸川温泉へのバス送迎をしていただきました。盆踊りでは、地域の方が一緒に楽しんでくださいました。本当にありがとうございました。

8月24日（火） 晴れ

午前中は高齢者疑似体験、午後は老人ホームで交流会。
灯ろうを作り、夜は津軽三味線を聞き、肝試し・花火大会

灯ろう作りでは出屋敷のおじさんが、子ども達の写真を撮りにきてくださいました。一人一人のために現像までしてくださり、ありがとうございました。また、里3号のおじさんからは子ども達にお饅頭の差し入れをいただきました。とってもおいしかったです。西山のおじさんには夕方武芸川温泉へのバス送迎をしていただきました。ありがとうございました。

8月25日（水） 晴れ

写経をしたり、俳諧結社獅子門の先生と一緒に俳句作り

楽しかった合宿も今日で終わり。里1号のおばさんからとってもおいしい手作りケーキの差し入れ。みんな大興奮でした。ありがとうございました。

この3日間、泊り込みで手伝ってくれた岐阜女子大学のボランティアの方（3名）には本当にお世話になりました。ありがとうございました。

《 岐阜新聞 8月29日付 18ページ地域総合欄にて掲載されました 》

今更の一言

秋の虫の音も聞こえ始め、ほっとしている今日この頃。今年の夏はいろんな思い出ができました。

なんととってもびっくりニユーヌは、お寺に山猿が現れたことです。玉ねぎを半分かじってお地藏様に供えて(?) あったり、大掃除を手伝ってくれようとして(?) 本堂に上がり込んだり…茶色の猿です。もうお寺の辺りから里へ降りているかもしれません。私はびっくりして腰が抜けるかと思いましたが。

腰が抜けるといえば、いつまでも若いと思っていたのにシヨックなことがありました。こども合宿で子どもが作った俳句の中にこんな句が・・・

おばさんが

「おねえさんだ」と

いばってる

・・・季語がないため却下され、内心ほっとした私でした。

ひーん(涙)



獅子庵の声

居りよさに

河原鶏来る

小菜晶

支考

「小菜」= 間引き菜
居心地良い河原に、鶏(ひわ)がひょいと飛んできた秋らしい一場面

～ シリーズ 北野のおばあちゃんの味 ～

♪北野で丁寧に野菜を育てるおばあちゃんの味 おすそわけ♪
北野里5号のおばあちゃん ゴーヤ佃煮の美味しい作り方

- ①1.5kgのゴーヤをキンピラごぼうのように薄く切り 15分程湯がく。
- ②ゴーヤをザルにあげて、みりん 200cc、醤油 200cc弱、酢 120g、ざらめ 200g、本だし少々と併せて鍋で煮る。
- ③しばらくしたら胡麻 50g、花がっお 50g、がちり 50gを鍋に入れて、汁がなくなるまで、しっかり煮詰める。がちりはジャコでもOK。
「毎日水戸黄門見てから畑へ行っとるんやて。うちのは沖縄ゴーヤやで、そんなに苦くはない。ゴーヤはたーんと採れるけど、佃煮にしとけば日持ちがするし、ご飯に乗せて食べれるよ」

12月4日(土) 18時 大智寺 大坐禅会 開催

12月8日は、お釈迦様が悟りを開かれ、仏教が生まれた日です。
それにちなみ、悟られた時のお釈迦様のお姿である坐禅をし、心身整えましょう。
また、当日は17時より牛乳パック灯ろうを飾ります。

♪大坐禅会に向けての募集♪

① 牛乳パックで手作り灯ろうを作ろう！

～ 秋のひとつき 一緒にお菓子を食べながら、灯ろうを作りましょう ～

- ◎ 日時：9月16日(木) 10時～12時 (場所：大智寺)
- ◎ 持ち物：牛乳パック1個以上・ハサミ・のり・カッター・えんぴつ



♪ 見ているだけで楽しくなれる切り絵の本たくさんあります。申込は大智寺まで

② 高齢者施設等への慰問ボランティアの募集

～ 高齢者の方と一緒に切り絵を楽しもう ～

手先をよく使う切り絵は、右脳を刺激し認知症予防につながると言われます。
若おくりと一緒に高齢者施設など慰問し、切り絵を一緒に作ってみませんか。

- ◎ ボランティア日程は、皆さまの御都合に合わせて調整します。
- ◎ ボランティア先は、こちらで調整します。施設のご紹介承ります。

③ 仏様も食された『乳粥』を作ってみませんか？

～ 仏様は坐禅に入る前にスジャータという女性が作った『乳粥』を食されました ～

雪印メグミルクグループによるお料理講習会 11月12日(金) 10時～13時

高齢の方にも身体にやさしい 乳粥づくり (参加費 500円)

(場所：北東部コミュニティーセンター 調理室) お申込は大智寺まで。

♪地域包括支援センター北東部の方の「認知症予防のお話」もあります。♪